

団体概要書

(その1)

団体名	特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 認定NPO法人 <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の役職・氏名	(ふりがな) だけざわ だんいち (きくざわ かずお) 理事長 竹澤 團七 (本名 菊澤和夫)		
主たる事務所の所在地	大阪市中央区日本橋1丁目5番6号、北浦ビル1階		
設立年月	平成14年 5月	構成員数	45名
事業年度	4月 1日 から 3月 31日		
団体の活動目的	義太夫、三味線、人形の技芸を具体的に指導普及し人形浄瑠璃の発展をはかり、もってわが国の文化の振興に資することを目的とする。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 8文楽		
主な活動内容	教育機関や公共施設等からの依頼による文楽普及活動 文楽愛好者へ対する情報発信および啓蒙活動		
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 ①唐津人形浄瑠璃保存会での人形操作指導(全2回) ②大阪市中央区役所「文楽舞台裏探検&親子劇場鑑賞」 ③豊中市立伝統芸能館「文楽にふれてみよう」への出演 ④向陽台高等学校全国総合文化発表会「文楽入門講座」への出演 ⑤大阪プラムライオンズクラブ チャーターナイト10周年記念「文楽入門」への出演 ⑥大阪市中央区役所「文楽～伝統・そして未来へ」への出演 ⑦ええやん文楽実行委員会「いっぺん観たるか、ええやん文楽」への出演 ⑧東京都港区文化スポーツ振興財団「文楽アウトリーチ」への出演(全2回) ⑨NPO Hana World のはら・ら・ら・ら「文楽座ワークショップ」への出演 ⑩大阪府立東住吉高等学校 校外学習「芸能文化科2年生に対する文楽三業の解説」への協力 ⑪大阪府立旭高等学校 2年芸術出前授業「文楽入門」への協力(全3回) ⑫大阪市大正区役所「文楽体験と公演」への出演 ⑬サロン・ド・ブンラクザ in 東京の共催 ⑭福島復興祈念文楽公演		
ホームページ	有 (URL http://www.bunrakuza.com/) / 無		
機関紙	有 (機関紙名 「文楽通信」) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

貴団体における現在の課題	法人運営にかかる経費に充当できる費用の捻出が非常に難しい。賛助会員の年会費だけでは不足しています。さまざまな事業ができれば、事業収入も増えて、その分経費をまかなえるようになるかもしれませんが、事務局スタッフを雇用する人件費の負担が大きすぎて、事業拡大にはつなげられない状況が続いています。
貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)	多くの方々に、人形浄瑠璃文楽を知ってもらいたい。人形浄瑠璃文楽がどんなものか感じていただきたい。そして「公演を観に行ってみようかな」という人が、1人でも多くなること。それが我々の活動の大きな目標です。ご依頼があれば、大阪のみならず、日本全国どこへでも伺って、人形浄瑠璃文楽の普及活動を展開したいと思っています。そして、本拠地である大阪に足を運んでいただけるようにという思いで普及活動を続けています。それには、企画運営する事務局スタッフが必要です。人材育成は、短期間でできることではありませんので、運営費のご支援をいただけるなら、まずは、事務局スタッフを雇用し、育成したいと思います。
市民等寄附者に対するPR	人形浄瑠璃文楽は、ユネスコの無形文化遺産にも登録され、世界中から注目されていますが、発祥の地である大阪を含め、日本国内では、まだまだ知られていない芸能です。我々は、大阪を、日本を代表する伝統芸能として、1人でも多くの方々に人形浄瑠璃文楽を知ってもらいたいと思い、普及活動を続けていきたいと思います。